

様式第3号（第12条関係）

会 議 録

| | |
|-----------------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和6年度第3回吉川市水道運営委員会 |
| 開 催 日 時 | 令和7年2月3日（月） 午後2時00分から 午後3時20分まで |
| 開 催 場 所 | 吉川市役所204会議室 |
| 出席委員（者）氏名 | （市議会）戸田馨委員 （使用者）阿部照義委員、富岡透委員、 中島眞由美委員、番場勇貴委員、平塚史子委員、山崎成一委員 （有識者）宇野二郎副会長、木暮昭彦委員、大泉將平委員 |
| 欠席委員（者）氏名 | 飯塚貴利会長、邨田茂委員 |
| （事務局） 担当課職員職氏名 | 吉川市長 中原恵人 都市建設部長 荒川泰弘 水道課長兼水道技術管理者 秋谷裕司 庶務担当主査 山崎眞由美、施設担当主査 松本謙一 庶務担当 遠山美南海、野澤文彌 |
| 会議次第と会議の 公開又は非公開の 別 | 【次第】 1 開 会 2 副会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議 事 （1）令和7年度吉川市水道事業会計予算（案）について （2）その他 5 閉 会 【公開・非公開】 公開 |
| 非公開の理由 （会議を非公開に した場合） | |
| 傍 聴 者 の 数 | 0名 |

| | |
|---------------------------|--|
| 会議資料の名称 | 資料 令和7年度吉川市水道事業会計予算概要 吉川市水道運営委員会名簿 令和7年度吉川市水道運営委員会会議開催予定表 |
| 会議録の作成方法 | <input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録 |
| 会議録確認指定者 | 富岡透委員、平塚史子委員 |
| その他の必要事項 | |
| 審議内容（発言者、発言内容、審議経過、決定事項等） | |
| 事務局 | 1 開会 会議は公開となることを報告する。 |
| 副会長 | 2 副会長あいさつ |
| 市長 | 3 市長あいさつ |
| 事務局 | 運営委員会定員12名のうち10名が出席し会議は成立、傍聴者がいないことを報告。 会議資料、次第、資料一覧、令和7年度会議予定表、委員名簿を確認。 議事進行を宇野副会長に依頼。 |
| 副会長 | 4 議事 会議録について、録音機器を用いた要点記録とし、富岡委員と平塚委員を署名委員に指名する。 |
| 事務局 | (1) 令和7年度吉川市水道事業会計予算概要に基づき、説明。 【意見・質疑等】 |
| 山崎委員 | 給水戸数増加の要因は何か。 |
| 事務局 | 集合住宅の建替え等が要因と考える。 引き続き予算概要に基づき、説明。 |

| | |
|------|---|
| | <p>【意見・質疑等】</p> |
| 木暮委員 | 長期前受金戻入の説明をお願いします。 |
| 事務局 | 固定資産を取得した際の、財源となる国庫補助金等を耐用年数に応じて、収益として計上しており、現金を伴う収入ではない。 |
| 大泉委員 | 以前はこのような会計制度ではなかったかと思う。 |
| 事務局 | 会計制度の改正により取扱いが変更した。 |
| | 引き続き予算概要に基づき、説明。 |
| | <p>【意見・質疑等】</p> |
| 富岡委員 | 石綿管布設替工事の補助率は。 |
| 事務局 | 1／4である。 |
| 山崎委員 | 石綿管布設替工事の舗装復旧に対して補助はあるのか。 |
| 事務局 | 対象外である。 |
| 木暮委員 | 分担金が毎年変動があるが理由は何か。 |
| 事務局 | アパートやマンションの建設が多かったことが要因と考える。令和7年度については、吉川美南駅東口の影響も考慮して計上している。 |
| 富岡委員 | 検満メーターの交換を計量法では8年だが、7年にしている理由は何か。メーターの売却は古いメーターか。 |
| 事務局 | 交換ができない箇所を考慮し、1年間で別途対応し、8年を超えないようにしている。売却については、検定満期となったメーターを売却している。 |
| | 引き続き予算概要に基づき、説明。 |
| | <p>【意見・質疑等】</p> |
| 山崎委員 | 企業債は、財務省と地方公共団体金融機構のどちらから借入するのか。 |

| | |
|------|---|
| 事務局 | 計画を提出したうえで、借入先が決定される。 |
| 山崎委員 | 会野谷浄水場RC配水池撤去後の土地利用は考えているか。 |
| 事務局 | 今後井戸施設を撤去する関係で、新たに水を消毒するための次亜塩素室を建設する予定である。また、県水の流量計を設置し、場内配管を耐震化する予定である。 |
| 山崎委員 | 県水100%はいつから予定しているのか。 |
| 事務局 | 令和9年度までに工事を完了し、令和10年度からを予定している。 |
| 木暮委員 | 配水池の耐震化がされているのは会野谷浄水場の2基のうち撤去しない方の1基であるか。 |
| 事務局 | 現在の配水池は、会野谷浄水場に2基、南配水場に1基ある。今回撤去するのは、現在使用しているものではなく、以前使用していた古いものである。 また、会野谷浄水場の1基は耐震化されている。もう1基は耐震診断が未診断である。次期計画において耐震診断を実施し、更新をしていく予定である。 |
| 山崎委員 | 一番古い配水池は耐震化されている会野谷浄水場の1基で、次に古いのは南配水場であるか。 |
| 事務局 | 会野谷浄水場にある2基のうち、耐震化されている1基が一番古い。次に古いのは会野谷浄水場の耐震診断が未診断の1基であり、南配水場が一番新しい。 引き続き予算概要に基づき、説明。 【意見・質疑等】 |
| 富岡委員 | 県水受水量と地下水の合計が、年間総配水量と差がある理由は。 |
| 事務局 | 端数を切り捨てているためである。 |
| 富岡委員 | 有収率約94%であるが、残りの無収水量には漏水が含まれているのか。 |
| 事務局 | 主なものは漏水である。 |

| | |
|------|--|
| 山崎委員 | 公共工事の水道管工事で破損した場合、漏水した水量について料金の請求をしているのか。 |
| 事務局 | <p>過去には請求した事例もある。</p> <p>引き続き予算概要に基づき、説明。</p> <p>【意見・質疑等】</p> |
| 山崎委員 | キャッシュフローにおいて、資金期末残高があるが、料金改定を実施したことで、今後残高は増加するのか。 |
| 事務局 | 令和7年度において純利益が増加しているため、今後資金残高も増加する見込みである。 |
| 富岡委員 | PFASについては、数値はどうか。 |
| 事務局 | 測定器で計測できる下限値以下である。 |
| 富岡委員 | 石綿管が残っているのはどの地域が多いのか。 |
| 事務局 | 以前の区画整理で整備した、吉川駅の南側に残っており、令和14年度までに石綿管の更新を予定している。 |
| 富岡委員 | 委託を進めると、職員の力量が下がることが懸念される。また、スマートメーターの導入は検討しているか。 |
| 事務局 | 全てを委託するのではなく、職員が担当する部分と委託先との連携、研修等を実施し、力量の確保をしていく。スマートメーターについては、単価等を考慮し検討していく。 |
| 山崎委員 | 検針端末に入力したデータはそのままシステムに反映されるのか。 |
| 事務局 | <p>入力後に反映されるのではなく、端末を水道課に持ち帰ってきてからデータを移行している。</p> <p>(2)その他について 特になし</p> |

【意見・質疑等】

質疑なし

(議事を終了し、副会長が議長の任を解かれる。)

6 閉会

以上で終了。

以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和7年3月6日

署名委員 平塚 史子 (自署)

署名委員 富岡 透 (自署)